

平成28年度

橋梁技術発表会及び講演会

参加費無料
定員 **350** 名
申込先着順

会場 仙台国際センター2F 桜

〒980-0856 仙台市青葉区青葉山無番地
Tel.022-265-2211

平成28年

日時 **11/11** (金) **13:00~16:50**

13:00~13:10

開会の辞

一般社団法人 日本橋梁建設協会
会長 石井 孝

13:10~13:25

橋建協報告

『熊本地震に対する橋建協
一斉点検調査』報告 熊本地震調査WG

第1部:技術発表会

13:25~14:05

1.橋台ジョイントレス構造の設計も
これでスッキリ!

～鋼-コンクリート接合部の設計方法について～
設計小委員会 設計部会 楠田 広和

14:05~14:15

休憩

14:15~14:55

2.大正時代のRC床版が、どうして
長期使用に耐えられたのか!

～90年以上の使用に耐えた九年橋の撤去床版
から劣化過程を探る～

床版小委員会 床版技術部会 酒井 武志

14:55~15:35

3.ハノイ市民が誇る新たなランド
マーク、ニャッタン橋建設工事報告

～世界にも珍しい6径間連続合成斜張橋の建設工事秘話～
海外事業展開特別委員会 得地 智信

15:35~15:45

休憩

第2部:特別講演会

15:45~16:45

i-Constructionにおける
生産性の向上

国土交通省 東北地方整備局企画部
技術開発調整官
原田 吉信



16:45~16:50

閉会の辞

橋梁技術発表会 実行委員会
副委員長 河合 良彦

申込方法

- ① Fax. 022-262-4855 (裏面の用紙に記載)
- ② ホームページ(URL) <http://www.jasbc.or.jp/>
の「技術発表会申し込み受け」まで
(受付は平成28年9月30日～10月28日)

申込期限

平成28年10月28日(金)

連絡先

一般社団法人 日本橋梁建設協会 東北事務所
〒980-0021 仙台市青葉区中央1-6-35 (東京建物仙台ビル)
川田工業(株)内 TEL 022-262-4855

継続教育

CPDS認定予定

※東京地区は 10月14日(金) 銀座プロッサムホール
大阪地区は 10月21日(金) ドーンセンター
中部地区は 10月28日(金) 東建ホール
北海道地区は 11月 2日(水) 北海道経済センター
九州地区は 11月18日(金) レソラNTT夢天神ホール 開催です。
(6地区開催ですが、発表テーマは異なります)
申し込み等詳細はホームページでご確認願います。

技術発表会(第1部)の発表原稿(論文、PPT)は、当日配布をして
おりません。ホームページに掲載しますので、各自ダウンロードして
持参して下さい。

アクセス



- 仙台駅より仙台市営地下鉄
東西線(八木山動物公園方面行き)
「国際センター駅」徒歩1分

1 橋台ジョイントレス構造の設計もこれでスッキリ！

～鋼-コンクリート接合部の設計方法について～

橋台部ジョイントレス構造の鋼桁と鉄筋コンクリート橋台接合部(鋼-コンクリート接合部)のすれ止めとして一般的に用いられる頭付きスタッドは、曲げモーメントを受ける部位での耐力特性が不明であり、地震時挙動に対する知見や具体的な照査方法は確立されていない。本発表では、鋼-コンクリート接合部を対象に、その抵抗特性の把握、要求性能を満足させる照査方法および構造細目の確立を目的に実施した試設計と3次元弾塑性解析について報告する。

2 大正時代のRC床版が、どうして長期使用に耐えられたのか！

～90年以上の使用に耐えた九年橋の撤去床版から劣化過程を探る～

過去の設計規準により建設された鉄筋コンクリート床版(以下、RC床版)は、現行の規準に適合していない床版厚や鉄筋量のまま使用されている場合、車両の大型化や交通量の増大の影響を受け、劣化事例が多く報告されている。

九年橋は、大正11年と昭和8年に建設され、建設当時のRC床版に補修補強等を施すことで、平成27年度に取替えられるまでの80～90年の間、使用環境の変化にも耐え、供用されてきた。

本研究では、直接荷重を受け、非常に厳しい使用環境となるRC床版が、長期間使用することができた理由を探るため、九年橋におけるRC床版の撤去前後に実施した調査結果をもとに、既設RC床版の劣化過程の推定を行った。

3 ハノイ市民が誇る新たなランドマーク、ニャットン橋建設工事報告

～世界にも珍しい6径間連続合成斜張橋の建設工事秘話～

ニャットン橋は、ベトナム国ハノイ市中心部からノイバイ空港を繋ぐ環状2号線の一部として、紅河に架かる橋梁で、ベトナム北部地域の物流の効率化と交通渋滞緩和を目的に、日本のODA(STEP:本邦技術活用条件)により建設された。

本橋は紅河上に架かる1,500mの6径間連続合成斜張橋の主橋と1,580mのPCスーパーT桁とPC箱桁構造の取付け橋を含む全長3,080mの橋梁である。

本発表では上部工工事のうち世界的にも珍しい形式である6径間連続合成斜張橋の主橋部工事について報告する。

特別講演会

i-Constructionにおける生産性の向上

原田吉信

国土交通省 東北地方整備局企画部
技術開発調整官

—主な経歴—

1981年 日本大学理工学部土木工学科 卒業
1981年 入省 建設省(東北地方整備局)
2006年 道路局 国道・防災課 課長補佐
2008年 東北地方整備局 東北幹線道路調査事務所長
2009年 東北地方整備局 企画部 環境調整官
2013年 東北地方整備局 企画部 震災対策調整官
2014年 東北地方整備局 郡山国道事務所長
2016年 現職

講演概要

これまで建設業では労働力過剰を背景として生産性の低迷が続いてきたが、現在、従事する技能労働者のうち今後10年間でその1/3にあたる約110万人が高齢化により離職し、急激な労働者不足が進行すると想定されている。一方、激甚化する災害対応や老朽化するインフラ対策は、今後益々建設業に対する社会的な要請が高まることから、労働力の大幅減少が避けられない建設産業において、いま生産性を向上させることが至上命題であり、ICTを活用した生産性の向上のためのイノベーションがいま建設産業に求められている。

FAX番号:022-262-4855

平成28年度

11月11日(金)

橋梁技術発表会

[東北地区]

参加申込書

所 属

団体名

所属

氏 名

役職

氏名

住 所

〒

電話番号

FAX番号

E-mail

前回参加の有無 有 ・ 無